

今回は、東浦物産館2階に店舗を構えるPC淡路さんにお話を伺って来ました。

平成21年の開業当初より、パソコンの修理・販売を主に、医療関係の事業所の保守管理等も行っていきます。

平成23年よりインターネットで淡路島の生産物の販売も始め、一定の売上を確保できるようになりましたが、今後さらなる売上上昇を考え、経営革新計画を進めていく中で、これまでの「待ちの商売」から長期的な戦略的経営計画を考え始めました。

そんな中、「生産者（農漁業者、販売業者・加工業者等）と購買者を双方で意思疎通が可能な販売システムの開発」に迫り着き、文書化した資料をもとに補助金、小規模事業者持続化

補助金に提出したところ、共に採択されました。

淡路島には豊富な生産物があり、現在も多数の販売サイトがあります。そのほとんどが仲介販売者が経営しており、生産者自身は関わっていません。

生産者も販売サイトを自分で作って経営したいと考えても、販売にこぎ着けるまでの敷居が高いため、断念している場合が多いそうです。

楽天等の大手販売サイトでは商品を登録するだけでも40項目以上の記載事項があるそうです。PC淡路さんのシステムでは、およそ4項目程度の登録で済むそうです。

生産者・販売者（PC淡路）のそれぞれ得意な分野を受け持つ事で成り立つ新しい販売システムは、契約者毎の専用端末を使い、最終的には生産者と購買者が情報交換できるような仕様作りを目指しているそうです。

従来の販売サイトでは、運営側の都合で、生産者が思う様に価格の設定ができなかったが、このシステムでは生産者自身が商品の価格を自由に設定できるようになり自由競争を促進します。

運営側（セレクト淡路）では顧客ターゲットを明確に絞り込

み、付加価値が高く、高利益な商品の販売を提案することで生産者自身では厳しかった安定した売上を確保することを目指しています。

地域全体で力を合わせ、コストの削減・売上の増加及び地域の活性化に繋がるシステムとなるそうです。

2016年に日本遺産に選ばれた「淡路島」を強調し、申請されたストーリーにまつわる五斗長垣内遺跡、伊弉諾神宮、おのころ神社等の文化財を紹介しつつ、各文化財に合った特産品を結びつけ、生産者が主体となって販売していくショップは淡路県民局管内初となっています。

詳しい話が聞きたい、出品をご検討の方は是非、太田さんまで。（岡田泰典）



# ものづくり・ 経営革新



～日本遺産 淡路島の  
厳選された商品を  
農業者・水産業者が  
簡単に販売できる  
ショッピングモールの開設～

PC淡路

代表 太田 達雄